

花笠音頭（山形県）



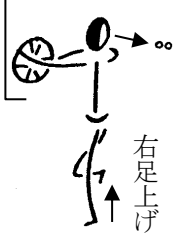






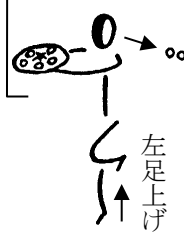









これは従来「花笠踊り」とも称せられたものである。発祥について、大正8年尾花沢付近で開田のため徳良湖を造った時その築堤工事の土搗き唄として歌われたのが元だろうという説や、置賜地方の旧米沢藩領に昔から伝わるものだという説などもあるが、実は、昭和13年頃、山形市在住の民謡家有海桃舟氏が、弟子の伊藤桃華氏が覚えていた「櫓洞突き唄」の節をそのまま上の句に用い、下の句の節は桃舟氏自ら工夫し、弟子の堀江反治氏が伴奏をつけ、踊りの振りは弟子の三沢新次郎氏がつけて、これを民謡家齋藤桃青氏なども盛んに歌っているうち現在の節廻しになったというのが真相らしい。

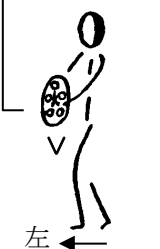
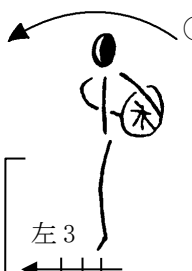
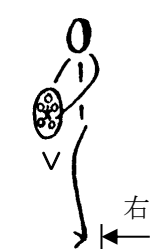




踊りについては、昭和30年頃、尾花沢市出身の紀文社長が、定まった振付がないのを残念に思い、振付師の木原氏を派遣、木原氏は笠を廻すものを振付けた。これは現在尾花沢や大石田で踊られている。同じ頃、米沢のレクリエーション協会が笠を持たない手踊りの振りを作って普及に乗りだした。また日本舞踊各流派の師匠もそれぞれ振付けて踊らせるという有様だった。リズムミカルで明朗な曲なのに踊りが不統一であることは我々にとっても残念であったが、昭和37年に結成された山形県民謡振興会を母体として花笠音頭普及会が生まれ、翌38年、振りと名称を統一するため、6月15日の第1回準備会后、同月25日の振付専門部会で、尾花沢、大石田、米沢、山形交通、農協の各関係者、各流派の師匠、木原氏、これらの人々が、熟議、検討の結果、従来の輪踊りや舞台踊りの形成を捨ててパレードを主眼とする型が採用され、平素各地で自由にやる場合は制限を加えないが、8月5～7日の山形花笠まつりの時には必ずこの振りで踊るように統一された。ここに紹介する踊りがそれである。

歌詞も、振付がきまった頃から募集されて、山形県内各地の観光・名称・物産を折りこんだもの20が選定された。笠は、約1200メートルの距離を1時間ほどで踊り抜くため、従来の大きいものでは、素人に扱いにくく、手は疲れ、笠は壊れ易いという欠点があるので、思いきり小型のものが考案された。

花笠音頭

- ◆ 隊 形：流しおどり。輪おどりでもよい。
 - ◆ 進行方向：反時計まわり。
 - ◆ 踊り始め：進行方向をむき、前奏 8 呼間聞いて、笠を両手に持って軽く膝を 4 回打ち、最後に笠を胸前にきめる。図(1)(2)
 - ◆ 踊り方
 - ① そろた そろたよ
笠を頭上にあげて、右足を 1 歩出し、左手で笠裏を軽くポンと打つ。次に笠を返ししながら左足を出して笠を打つ。さらに右、左と行う。図(3)~(6)
 - ② 笠おどり
右足を左足にそえ笠を両手に持って胸前にかまえる。図(7)
 - ③ そろ
笠を左へ流しながら左足を引き、さらに右に流して右足を引き、次にすばやく上体を左にひねり、笠を胸の高さにおく。図(8)~(10)
 - ④ たァア
笠を進行方向に突き出しながら右足を出し、次に左足を出しながら笠を後ろに引き、つづいて右足を出すと同時に左足を上げ、笠を前に突き出す。図(11)(12)
 - ⑤ 秋の
上体を右にひねり、笠を胸前におき、左、右、左と笠を振りながら 3 歩前進し、右足をあげてかまえる。(④の反対動作)図(13)~(15)
 - ⑥ チョイ チョイ
あがっている右足を左足に揃えて、笠を頭上にかざす。図(16)
 - ⑦ 出穂よ
笠はそのままの位置で上体を右にひねり、膝をまげて右上を眺める。次に上体を左にひねって左上を見る。図(17)
 - ⑧ り よく
進行方向に体を向けながら、笠で膝を 3 つ打つ。図(18)
 - ⑨ そろた
右足を出し、笠で右ももを打ち、左足出して左ももを打ち、右足を左足に揃えて膝を打つ。図(19)~(21)
 - ⑩ ハア ヤッショ マカシヨ
笠を左へはずませ、1 度右足を上げてから右横におろし、笠を左から頭上を通して右下におろす。以上の動作を右、左、右、左と行いながら、その場を右に 4 歩で 1 回転する。図(22)
 - ⑪ 間奏
左下にある笠を、頭上から半円を描くようにして進行方向へおろしながら、右、左、右と 3 歩前進し、左足を上げ、そのまま軽く右足ホップ。次に笠を右下から、以上の反対動作。両足を揃え、笠を胸前に伸ばしてかまえる。図(23)~(27)
- 以上をくり返す。

<p>◆流し踊り 輪おどりでもよい ◆反時計まわり ◆進行方向をむき、 笠を両手で持ち、 前奏8呼間聞いて、 踊り始める。</p>	<p>(5)</p>  <p>右</p>	<p>(10)</p> <p>すばやく上体を 左へひねる</p>  <p>④</p>	<p>(15)</p> <p>3歩目</p>  <p>右足上げ</p> <p>④</p>
<p>(1)</p> <p>軽く膝を4回打つ</p>  <p>前奏</p> <p>①</p> <p>⑧</p>	<p>(6)</p>  <p>左</p> <p>⑧</p>	<p>(11)</p> <p>笠を前後に振って 3歩進む</p>  <p>右3</p> <p>①</p>	<p>(16)</p> <p>チヨイチヨイ</p>  <p>右</p> <p>①</p> <p>②</p>
<p>(2)</p> <p>笠を胸前にきめる</p>  <p>①</p> <p>②</p>	<p>(7)</p> <p>笠を胸前にきめる</p>  <p>右</p> <p>①</p> <p>②</p>	<p>(12)</p> <p>3歩目</p>  <p>左足上げ</p> <p>④</p>	<p>(17)</p> <p>右、左と 体をねじって眺める</p>  <p>膝2</p> <p>①</p> <p>④</p>
<p>(3)</p> <p>左手で笠裏をポン</p>  <p>右</p> <p>①</p>	<p>(8)</p> <p>笠を胸前におく</p>  <p>左</p> <p>①</p> <p>②</p>	<p>(13)</p> <p>上体を右にひねり 笠を胸前におく</p>  <p>①</p>	<p>(18)</p> <p>膝打ち3回 3度目大きく</p>  <p>①</p> <p>④</p>
<p>(4)</p>  <p>左</p>	<p>(9)</p>  <p>右</p> <p>③</p>	<p>(14)</p> <p>笠を前後に振って 3歩進む</p>  <p>①</p>	<p>(19)</p> <p>右もも打ち</p>  <p>右</p> <p>①</p>

<p>(20)</p> <p>左もも打ち</p> 	<p>(25)</p> 		
<p>(21)</p> <p>膝打ち</p> 	<p>(26)</p> <p>3歩目</p> 		
<p>(22)</p> <p>合わせ返し の要領で</p> <p>右 4</p> <p>ハヤツシヨマカシヨ</p> 	<p>(27)</p> <p>笠を胸前に きめる</p> <p>右</p> 		
<p>(23)</p> 	<p>以上を図(3)からくり返す</p>		
<p>(24)</p> <p>3歩目</p> 